



**LA4 preset library (V1.3)**  
**LA8 preset library (V1.1)**

---

# 1 目次

1	目次	1
2	はじめに	2
3	プリセット・ゲインの構造	2
4	LA4 プリセットライブラリー (version1.3)	3
4.1	KIVA WST <sup>®</sup> システム.....	6
4.1.1	“フルレンジ” モード: [KIVA] [KIVA_FI] プリセット.....	6
4.1.2	“ローエクステンション” モード: [KIVA_KILO] [KIVA_KILO_60] プリセット.....	6
4.2	ARCS <sup>®</sup> WST <sup>®</sup> システム.....	7
4.2.1	“フルレンジ” モード: [ARCS_LO] [ARCS_HI] プリセット.....	7
4.2.2	“ハイパス” モード: [ARCS_xx_60] [ARCS_xx_100] プリセット.....	7
4.2.3	“ハイブリッド” モード: [ARCS_S118_LO] [ARCS_S118_HI] プリセット.....	8
4.3	パッシブ コアキシャル・エンクロージャ.....	9
4.3.1	“フルレンジ” モード: [xxx_FR], [xxx_FI], [xxx_MO] プリセット.....	9
4.3.2	“ハイパス” モード: [xxx_FR_100], [xxx_FI_100], [xxx_MO_100] プリセット.....	10
4.3.3	“ハイブリッド” モード: [xxx_SB118] プリセット.....	10
4.4	アクティブコアキシャル・エンクロージャ.....	11
4.4.1	“フルレンジ” モード: [xxx_FR], [xxx_FI], [xxx_MO] プリセット.....	11
4.4.2	“ハイパス” モード: [xxx_FR_100], [xxx_FI_100], [xxx_MO_100] プリセット.....	11
4.5	SB118 サブウーファーエンクロージャ.....	12
4.5.1	“スタンダード” モード: [SB118_60], [SB118_100] プリセット.....	12
4.5.2	“カーディオイド” モード: [SB118_60_C], [SB118_100_C] プリセット.....	13
5	LA8 プリセットライブラリー(version 1.1)	14
5.1	V-DOSC <sup>®</sup> WST <sup>®</sup> システム.....	16
5.1.1	“フルレンジ” モード: [V-DOSC_LO], [V-DOSC_HI] プリセット.....	16
5.1.2	“ハイパス” モード: [V-DOSC_LO_60], [V-DOSC_HI_60] プリセット.....	16
5.1.3	“拡張” モード: [V-DOSC_LO_X], [V-DOSC_HI_X] プリセット.....	17
5.2	KUDO <sup>®</sup> WST <sup>®</sup> システム.....	17
5.2.1	“フルレンジ” モード: [KUDO50], [KUDO80], [KUDO110] プリセット.....	17
5.2.2	“ハイパス” モード: [KUDO50_60], [KUDO80_60], [KUDO110_60] プリセット.....	18
5.3	dV-DOSC WST <sup>®</sup> システム.....	19
5.3.1	“フルレンジ” モード: [dV_LO], [dV_HI], [dV_FI] プリセット.....	19
5.3.2	“ハイパス” モード: [dV_LO_100], [dV_HI_100] プリセット.....	19
5.3.3	“ハイブリッド” モード: [dV_dV-S_xx], [dV_dV-S_xx60] プリセット.....	20
5.4	115XT HiQ コアキシャル・エンクロージャ.....	21
5.4.1	“フルレンジ” モード: [HIQ_FR], [HIQ_FI], [HIQ_MO] プリセット.....	21
5.4.2	“ハイパス” モード: [HIQ_FR_100], [HIQ_FI_100], [HIQ_MO_100] プリセット.....	21
5.5	サブウーファーエンクロージャ.....	22
5.5.1	“スタンダード” モード: [SBxxx_60], [SBxxx_100], [dV-S_60_100], [dV-S_100] プリセット.....	22
5.5.2	“カーディオイド” モード: [SBxxx_60_C], [SBxxx_100_C] プリセット.....	23
5.5.3	“拡張” モード: [SB218_X], [dV-S_60_X], [dV-S_X] プリセット.....	23
6	システム構成	25

## 2 はじめに

このマニュアルでは、LA4(V1.3)とLA8(V1.1)アンプリファイドコントローラー専用のプリセットライブラリー使用上の情報が含まれています。L-ACOUSTICS®のウェブサイト、[www.l-acoustics.com](http://www.l-acoustics.com)にて最新バージョンのライブラリー、ファームウェアとLA NETWORK software をダウンロードしてください。

LA4/LA8 にファームウェアとプリセットライブラリーをインストールするために、LA NETWORK MANAGER をお使いください(ダウンロード可能なセットアップ・ファイル・パッケージのユーザーマニュアルも含まれています)。

LA4/LA8 にプリセットを読み込むため、フロントパネルから LOAD PRESET を起動し、任意のプリセットを選択してください。

このマニュアルにおける製品の詳細については、該当するユーザーマニュアルをご参照ください。

## 3 プリセット・ゲインの構造

全ての L-ACOUSTICS®エンクロージャー(8XT, KIVA, KILO を除く)が、LA4/LA8 のインプットに入力されている信号と同じ値のパワーリミットに達するよう、全プリセット・ゲインがキャリブレーションされています。インプットシグナルの値は代表的な音楽的信号の場合、+8dBu となります(8XT, KIVA, KILO の場合は、+4dBu となります)。

このゲインの構造は、システムのインストールとパワーリソース(左右のシステム、付随するサブウーファー、サイド・システム)の最適化を容易にするために導入されています。

### メインシステムとサブウーファーシステムを含んだ例

もし、サブウーファーシステムのレベルが必要以上に高い場合、ユーザーはサブウーファーエンクロージャーの数を減らすことが出来ます。もう一つの選択肢として、均一なトーンバランスと増大されたヘッドルームを得るため、サブウーファーシステムのインプットレベルを下げることも可能です。

それに対し、もし、サブウーファーシステムのレベルが十分でない場合、ユーザーはサブウーファーエンクロージャーの数を増やす必要があります。

## 4 LA4 プリセットライブラリー (version1.3)

完全なオンボードのプリセットライブラリーは、L-ACOUSTICS®スピーカーの選択されたレンジ用の全ての主要なシステム構成をカバーするため、LA4 の 89OEM(11 から 99)メモリーロケーションの中にメモリーされます。表 1 は、LA4 プリセットライブラリーのバージョン 1.3 を示しています: 75 のプリセットがあり、それぞれ、メモリー位置の番号、名前、チャンネル・アサインメント、そして製品の種類(ファミリー)で説明されています。

### WST®システムのプリセット(KIVA, KILO KIVA と ARCS ファミリー)

[KIVA]プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーション(サブウーファーを含まない)に使用します。

[KIVA\_KILO]プリセットは、KIVA エンクロージャーと KILO エンクロージャーを使ったハイブリッド構成用に設計されています。

ARCS ファミリーの製品内では、LO プリセットは、スタンダードな高域の特性を特徴とし、HI プリセットは増幅された高域の特性(LO プリセットに対し、高域シェルビング EQ に 3dB の違い)を特徴とします。

### コアキシャルシステム(XT と MTD ファミリー)と[KIVA\_FI]プリセット

[xxx\_FI]”FILL”プリセットは、スピーチ補強、クラシック音楽、至近距離でのエンクロージャー使用に公称フラットな特性をもたらします。

[xxx\_FR]”FRONT”プリセットは、スタンドアローン FOH での用途(サブウーファーを含まない)で使用されます。

[xxx\_MO]”MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、公称フラットな特性をもたらします。

### ハイブリッド構成とサブウーファーエンクロージャー・プリセット(ARCS SB118、SB118、12XTS118、115bPSB、112bSB、108a ファミリー)

上記のプリセットは、100Hz[SB118\_100]と 60Hz[SB118\_60]でローパスフィルタリングされた SB118 サブウーファーシステムの使用のために、それぞれ 100Hz[xxx\_100]と 60Hz[xxx\_60]ハイパスフィルターを含んでいます。

[8XT\_SB118]と[108a\_SB118]は、それぞれ SB118、8XT、108a エンクロージャーを使用したハイブリッド構成のために、設計されています。これらのプリセットは 100Hz のクロスオーバーポイントを含んでいます。

[12XTP\_SB118]、[112b\_SB118]、そして[115bP\_SB118]は、それぞれ SB118 とパッシブ 12XT、MTD112b、もしくはパッシブ MTD115b エンクロージャーを使用したハイブリッド構成のために設計されています。これらのプリセットは、100Hz クロスオーバーポイントを含んでいます。

[ARCS\_S118\_xxx]プリセットは ARCS®と SB118 エンクロージャーを使用したハイブリッド構成のために設計されています。これらのプリセットは、60Hz のクロスオーバー・ポイントを含んでいます。

[SB118\_xxx\_C]プリセットは、SB118 サブウーファーを使用してカーディオイド・カバレッジ・アレーを構成する、特定のイコライゼーション・セッティングを備えています。(SB118 ユーザーマニュアル参照)

表 1 に記入している、4 種類のアウトプット・チャンネルは、以下のように”xx\_x”で表示されています。

- 最初の 2 桁は、相応するアウトプット・チャンネルに接続されるトランスデューサーの種類を示しています。  
PA: パッシブ・エンクロージャー  
LF: サブウーファー・エンクロージャー  
SR: カーディオイド・アプリケーション、反転型サブウーファー・エンクロージャー
- 最後の桁は、アウトプットが、どの入力チャンネルによりドライブされるか示しています:A、B:それぞれ、インプット A または B によってドライブされるアウトプット

# PRESET LIBRARIES

ユーザーマニュアル

VERSION 1.3.1.1c

表1: LA4 ファクトリー・プリセット・ライブラリーの解説

N°	PRESET NAME	OUT 1	OUT 2	OUT 3	OUT 4	DESCRIPTION	FAMILY
11	KIVA	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	KIVA, full range, FOH contour	KIVA
12	KIVA_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	KIVA, full range, FI contour	KIVA
13	KIVA_KILO	LF_A	PA_A	PA_A	PA_A	KIVA & KILO, full range, X-OVER=100 Hz, FOH contour	KILOKIVA
14	KIVA_KILO_60	LF_A	PA_A	PA_A	PA_A	KIVA & KILO, HPF=60 Hz, X-OVER=100 Hz, FOH contour	KILOKIVA
15	ARCS_LO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, full range, LO contour	ARCS
16	ARCS_LO_60	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=60 Hz, LO contour	ARCS
17	ARCS_LO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=100 Hz, LO contour	ARCS
18	ARCS_HI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, full range, HI contour	ARCS
19	ARCS_HI_60	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=60 Hz, HI contour	ARCS
20	ARCS_HI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=100 Hz, HI contour	ARCS
21	ARCS_SB118_LO	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	ARCS & SB118, full range, X-OVER=60 Hz, LO contour	ARCSB118
22	ARCS_SB118_HI	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	ARCS & SB118, full range, X-OVER=60 Hz, HI contour	ARCSB118
23	SB118_60	SB_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB118, LPF=60 Hz	SB118
24	SB118_100	SB_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB118, LPF =100 Hz	SB118
25	SB118_60_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB118, LPF =60 Hz, cardioïd coverage pattern	SB118
26	SB118_100_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB118, LPF =100 Hz, cardioïd coverage pattern	SB118
27	12XTA_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, full range, FI contour	12XTA
28	12XTA_FI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, HPF=100 Hz, FI contour	12XTA
29	12XTA_FR	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, full range, FR contour	12XTA
30	12XTA_FR_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, HPF=100 Hz, FR contour	12XTA
31	12XTA_MO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, full range, MO contour	12XTA
32	12XTA_MO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, HPF=100 Hz, MO contour	12XTA
33	12XTP_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, full range, FI contour	12XTP
34	12XTP_FI_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, HPF=100 Hz, FI contour	12XTP
35	12XTP_FR	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, full range, FR contour	12XTP
36	12XTP_FR_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, HPF=100 Hz, FR contour	12XTP
37	12XTP_MO	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, full range, MO contour	12XTP
38	12XTP_MO_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, HPF=100 Hz, MO contour	12XTP
39	8XT_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, full range, FI contour	8XT
40	8XT_FI_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, HPF=100 Hz, FI contour	8XT
41	8XT_FR	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, full range, FR contour	8XT
42	8XT_FR_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, HPF=100 Hz, FR contour	8XT
43	8XT_MO	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, full range, MO contour	8XT
44	8XT_MO_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, HPF=100 Hz, MO contour	8XT
45	12XTP_SB118	SB_A	PA_A	SB_B	PA_B	12XT passive & SB118, full range, X-OVER=100 Hz, FR contour	12XTS118
46	8XT_SB118	SB_A	PA_A	SB_B	PA_B	8XT & SB118, full range, X-OVER=100 Hz, FR contour	8XTSB118

47	115XT_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, full range, FI contour	115XT
48	115XT_FI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, HPF=100 Hz, FI contour	115XT
49	115XT_FR	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, full range, FR contour	115XT
50	115XT_FR_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, HPF=100 Hz, FR contour	115XT
51	115XT_MO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, full range, MO contour	115XT
52	115XT_MO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, HPF=100 Hz, MO contour	115XT
53	115bA_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, full range, FI contour	MTD115bA
54	115bA_FI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, HPF=100 Hz, FI contour	MTD115bA
55	115bA_FR	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, full range, FR contour	MTD115bA
56	115bA_FR_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, HPF=100 Hz, FR contour	MTD115bA
57	115bA_MO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, full range, MO contour	MTD115bA
58	115bA_MO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, HPF=100 Hz, MO contour	MTD115bA
59	115bP_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, full range, FI contour	MTD115bP
60	115bP_FI_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, HPF=100 Hz, FI contour	MTD115bP
61	115bP_FR	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, full range, FR contour	MTD115bP
62	115bP_FR_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, HPF=100 Hz, FR contour	MTD115bP
63	115bP_MO	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, full range, MO contour	MTD115bP
64	115bP_MO_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, HPF=100 Hz, MO contour	MTD115bP
65	112XT_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, full range, FI contour	112XT
66	112XT_FI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, HPF=100 Hz, FI contour	112XT
67	112XT_FR	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, full range, FR contour	112XT
68	112XT_FR_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, HPF=100 Hz, FR contour	112XT
69	112XT_MO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, full range, MO contour	112XT
70	112XT_MO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, HPF=100 Hz, MO contour	112XT
71	112b_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, full range, FI contour	MTD112b
72	112b_FI_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, HPF=100 Hz, FI contour	MTD112b
73	112b_FR	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, full range, FR contour	MTD112b
74	112b_FR_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, HPF=100 Hz, FR contour	MTD112b
75	112b_MO	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, full range, MO contour	MTD112b
76	112b_MO_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, HPF=100 Hz, MO contour	MTD112b
77	108a_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, full range, FI contour	MTD108a
78	108a_FI_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, HPF=100 Hz, FI contour	MTD108a
79	108a_FR	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, full range, FR contour	MTD108a
80	108a_FR_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, HPF=100 Hz, FR contour	MTD108a
81	108a_MO	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, full range, MO contour	MTD108a
82	108a_MO_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, HPF=100 Hz, MO contour	MTD108a
83	115bP_SB118	SB_A	PA_A	SB_B	PA_B	MTD115b pass. & SB118, full range, X-OVER=100 Hz, FR contour	115bPSB
84	112b_SB118	SB_A	PA_A	SB_B	PA_B	MTD112b & SB118, full range, X-OVER=100 Hz, FR contour	112bSB
85	108a_SB118	SB_A	PA_A	SB_B	PA_B	MTD108a & SB118, full range, X-OVER=100 Hz, FR contour	108aSB

### 4.1 KIVA WST® システム

#### 4.1.1 “フルレンジ”モード: [KIVA], [KIVA\_FI]プリセット

[KIVA]プリセットは、80-20kHz 周波数レンジでの中長距離での使用を想定し設計された、専用のシステム・コンツアーを備えています。

[KIVA]プリセット内のアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 2: KIVA プリセットでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X
OUT 2	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X
OUT 3	KIVA Enclosure	PA_B	O	O	X	X
OUT 4	KIVA Enclosure	PA_B	O	O	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. PA: passive enclosure.

[KIVA\_FI]プリセットは、中距離専用での使用のために 80Hz までの公称フラットなシステムの特徴を特徴とします。このプリセットは、各内角を 0° から 15° まで調節可能で、1台、もしくは、1組のエンクロージャーに適用されます。

[KIVA\_FI]プリセット内のアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 3:[KIVA\_FI]プリセットでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 2	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 3	KIVA Enclosure	PA_B	O	O	O	O
OUT 4	KIVA Enclosure	PA_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. PA: passive enclosure.

#### 4.1.2 “ロー・エクステンション”モード:[KIVA\_KILO], [KIVA\_KILO\_60]プリセット

[KIVA\_KILO]プリセットは 50Hz までのバンド幅を持つ中長距離での使用を想定し設計された、専用のシステム・コンツアーを備えています。LF セクションと MF セクション間のクロスオーバー周波数は 100Hz に設定されています。推奨する割合は KIVAx3 台に対し、KILOx1 台です。

[KIVA\_KILO\_60]プリセットは、60Hz でのハイパスフィルターを持つ中長距離での使用を想定し設計された、専用のシステム・コンツアーを備えています。このプリセットは、SB118 サブウーファー・システムと KIVA/KILO アッセンブリとの併用での使用が意図されています。推奨する割合は、SB118x1 台につき、KIVAx3 台と KILOx 1 台のアッセンブリとなります。このシステムのバンド幅は 32kHz まで下げられています。

“ロー・エクステンション”モードのアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 4:“ロー・エクステンション”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	KILO Enclosure	LF_A	O	O	X	X
OUT 2	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X
OUT 3	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X
OUT 4	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. PA: passive enclosure. LF: low frequency transducer.

注: もしも、補足のサブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットで使われている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 4.2 ARCS® WST® システム

### 4.2.1 “フルレンジ”モード:[ARCS\_LO]、[ARCS\_HI]プリセット

[ARCS\_LO]と[ARCS\_HI]プリセットは、中距離での使用を想定し設計された、専用のシステム・コンツアーを備えています。

[ARCS\_LO]プリセットは、スタンダードな高域特性を備えています。

[ARCS\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を備えています ([ARCS\_LO]プリセットに対し、高域シェルビング EQ に 3dB の違い)

“フル・レンジ”モードのアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表5:“フル・レンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	ARCS® Enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	ARCS® Enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

### 4.2.2 “ハイ・パス”モード:[ARCS\_xx\_60]、[ARCS\_xx\_100]プリセット

[ARCS\_xx\_60]と[ARCS\_xx\_100]プリセットは、中距離での使用向けに作られた、専用のシステム・コンツアーを備え、それぞれ、60Hz、もしくは 100Hz のハイパスフィルターを含んでいます。これらのプリセットは、SB118、SB28、または SB218 サブウーファーシステムと併用の ARCS®システムの使用を意図して作られています。推奨する割合は、SB118x1 台につき ARCS®x1 台、SB28x1 台につき ARCS®x2 台、SB218x1 台につき ARCS® 2 台となります。

これらのプリセットによるドライビングで、例として、センター・クラスターとして配置する場合、狭い低域バンド幅で ARCS®を使用することも可能です。

[ARCS\_xx\_60]プリセットは、SB118、SB28、または SB218 サブウーファーとの併用、もしくはスタンドアローンでの使用を意図し作られており、サブウーファーと組み合わせる場合、[SB118\_60]、[SB28\_60]、または、[SB218\_60]プリセットとの組み合わせでドライビングされます。

[ARCS\_xx\_100]プリセットは、SB118、SB28、または SB218 サブウーファーとの併用、もしくはスタンドアローンでの使用を意図し作られており、サブウーファーと組み合わせる場合、[SB118\_100]、[SB28\_100]、または、[SB218\_100]プリセットとの組み合わせでドライビングされます。

“ハイ・パス”モードでアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 6: “ハイ・パス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	ARCS® Enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	ARCS® Enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: もしも、補足のサブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットで使われている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

### 4.2.3 “ハイブリッド”モード:[ARCS\_S118\_LO]、[ARCS\_S118\_HI]プリセット

“ハイブリッド”モードでは、SB118 エンクロージャーは ARCS®エンクロージャーと組み合わせられます。システムの周波数バンド幅 32Hz まで下げることができ、SB118 と ARCS®のローセクションのクロスオーバー周波数は 60Hz です。推奨する割合は、SB118x1 台と ARCS®x1 台となります。

[ARCS\_S118\_LO]プリセットは、スタンダードな高域の特性を特徴とします。

[ARCS\_S118\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を特徴とします (LO プリセットに対し、高域シュルピング EQ に 3dB の違い)。



[ARCS\_S118\_LO]プリセットは、[ARCS\_LO\_60]と[SB118\_60]間の組み合わせとなります。

[ARCS\_S118\_HI]プリセットは、[ARCS\_HI\_60]と[SB118\_60]プリセット間の組み合わせとなります。

“ハイブリッド”モードのアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表7: “ハイブリッド”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN B	X	O	O	O
OUT 1	SB118 enclosure	SB A	O	X	X	X
OUT 2	SB118 enclosure	SB A	O	X	X	X
OUT 3	ARCS® enclosure	LF B	O	X	X	X
OUT 4		HF B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. SB: subwoofer enclosure. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

### 4.3 パッシブ・コアキシャルエンクロージャー

パッシブ・コアキシャルエンクロージャーは、8XT、パッシブ 12XT (12XTP)、MTD108a、MTD112b、そしてパッシブ MTD115b (MTD115bP) となります。

#### 4.3.1 “フルレンジ”モード:[xxx\_FR]、[xxx\_FI]、[xxx\_MO]プリセット

“フルレンジ”モードでは、パッシブエンクロージャーは、低域拡張を必要としないアプリケーションのため、公称バンド幅でのスタンドアロン構成で使用されます。

[xxx\_FI]”FILL”プリセットは、スピーチ、クラシック音楽、近距離でのエンクロージャー使用に公称フラットな特性をもたらします。

[xxx\_FR]”FRONT”プリセットは、スタンドアロン FOH アプリケーションに用います(サブウーファー不使用)。

[xxx\_MO]”MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、公称フラットな特性を生み出します。

パッシブエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 8: パッシブエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Passive enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 2	Passive enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 3	Passive enclosure	PA_B	O	O	O	O
OUT 4	Passive enclosure	PA_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. PA: passive enclosure.

### 4.3.2 “ハイパス”モード: [xxx\_FR\_100], [xxx\_FL\_100], [xxx\_MO\_100]プリセット

“ハイパス”モードでは、パッシブエンクロージャーは、専用サブウーファーである SB118 との併用のため、100Hz のハイパスフィルターを備えています。このシステムのバンド幅は 32Hz まで下げることができます。推奨する SB118 との組み合わせの割合は、パッシブ 12XTx1 台、パッシブの MTD115bx1 台、MTD112bx1 台、8XTx2 台、または MTD108ax2 台となります。

- [xxx\_FL\_100] “FILL”プリセットは、公称フラットな特性をもたらします。これらのプリセットは、100Hz のハイパスフィルターも備えています。
- [xxx\_FR\_100] “FRONT”プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーションに用います。これらのプリセットは 100Hz のハイパスフィルターを備えています。
- [xxx\_MO\_100] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、公称フラットな特性を生み出します。これらのプリセットは、100Hz のハイパスフィルターも備えています。

パッシブエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 9: パッシブ・エンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Passive enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 2	Passive enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 3	Passive enclosure	PA_B	O	O	O	O
OUT 4	Passive enclosure	PA_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. PA: passive enclosure.

注: もし、補足のサブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットで使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

### 4.3.3 “ハイブリッド”モード: [xxx\_SB118]プリセット

“ハイブリッド”モードでは、パッシブエンクロージャーは、SB118 エンクロージャーと組み合わせられます。SB118 との組み合わせの推奨される割合は、パッシブの 12XTx1 台、パッシブの MTD115bx1 台、MTD112bx1 台、8XTx2 台、または MTD108ax2 台となります。

[xxx\_SB118]プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーションに用います。このシステムの周波数バンド幅は 32Hz まで下げられ、LF/HF セクション間のクロスオーバー周波数は 100Hz となります。

“ハイブリッド”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 10: “ハイブリッド”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	SB118 enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	Passive enclosure	PA_A	O	O	O	X
OUT 3	SB118 enclosure	SB_B	O	O	O	O
OUT 4	Passive enclosure	PA_B	O	O	O	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. PA: passive enclosure. SB: subwoofer enclosure.

#### 4.4 アクティブ・コアキシャルエンクロージャー

LA4 に接続するアクティブ・コアキシャルエンクロージャーは、アクティブの 12XT (12XTA)と、アクティブの MTD115b (MTD115bA) となります。

##### 4.4.1 “フルレンジ”モード: [xxx\_FR], [xxx\_FI], [xxx\_MO]プリセット

“フルレンジ”モードでの、アクティブエンクロージャーは、低域拡張を必要としないアプリケーションのため、公称バンド幅でのスタンドアロン構成で使用されます。

[xxx\_FI] “FILL”プリセットは、スピーチ補、クラシック音楽、近距離でのエンクロージャー使用に公称フラットな特性をもたらします。

[xxx\_FR] “FRONT”プリセットは、スタンドアロンでの FOH アプリケーションに用います (サブウーファー不使用)。

[xxx\_MO] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート (フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合) で、公称フラットな特性を生み出します。

アクティブエンクロージャー用の“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 11: アクティブエンクロージャー用の“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Active enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	Active enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

##### 4.4.2 “ハイパス”モード: [xxx\_FR\_100], [xxx\_FI\_100], [xxx\_MO\_100]プリセット

“ハイパス”モードでは、アクティブエンクロージャーは、パッシブエンクロージャーは、専用サブウーファーである SB118 との併用のため、100Hz のハイパスフィルターを備えています。このシステムのバンド幅は 32Hz まで下げることができます。推奨する SB118 との組み合わせの割合は、アクティブの 12XTx1 台、またはアクティブの MTD115b となります。

[xxx\_FI\_100] “FILL”プリセットは、公称フラットな特性を生み出します。これらのプリセットは、100Hz のハイパスフィルターも備えています。

[xxx\_FR\_100] “FRONT”プリセットは、スタンドアロンでの FOH アプリケーション用となります。これらのプリセットは、100Hz のハイパスフィルターを備えています。

[xxx\_MO\_100] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート (フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合) で、公称フラットな特性を生み出します。これらのプリセットは、100Hz のハイパスフィルターを備えています。

アクティブエンクロージャー用の“ハイパス”モードのアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 12: アクティブエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Active enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	Active enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: もし、補足のサブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットで使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 4.5 SB118 サブウーファーエンクロージャー

### 4.5.1 “スタンダード”モード: [SB118\_60]、[SB118\_100]プリセット

“スタンダード”モードで、SB118 エンクロージャーは、使用システムの低周波数特性を 32Hz まで下げることができます。このモードで、各 SB118 エンクロージャーは全方向カバーパターンを生み出します。該当するプリセットは、LA4 と LA8 のライブラリーにあります。

[SB118\_60]プリセットは、KUDO®、dV-DOSC/dV-SUB、ARCS®、KIVA/KILO システムと組み合わせのサブウーファーとして SB118 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB118\_100]プリセットは、dV-DOSC、ARCS®、XT、MTD システムと組み合わせのサブウーファーとして SB118 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

“スタンダード”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 13: “スタンダード”モードでアクセス可能なパラメーター

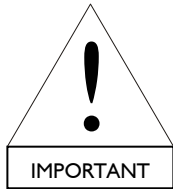
LA4 Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	SB118 enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	SB118 enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 3	SB118 enclosure	SB_B	O	O	O	O
OUT 4	SB118 enclosure	SB_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. SB: subwoofer enclosure.

注: メインシステムのエンクロージャーは、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルを参照してください。

#### 4.5.2 “カーディオイド”モード: [SB118\_60\_C]、[SB118\_100\_C]プリセット

“カーディオイド”モードでは、SB118 エンクロージャーは、使用システムの低周波数特性を 32Hz まで下げることができます。このモードで、SB118 システムは、カーディオイド・カバレッジを作ります。従って、リア側に最大の減衰をもたらし、結果として、エンクロージャーの後部の音圧レベルを非常に大きく減らすことになります。該当するプリセットは LA4 と LA8 のライブラリーにあります。



SB118 カーディオイドアレーは、最下部をフロントからリアへ反対にした SB118 エンクロージャー4 台をパーティカル・アレーにすることにより得られます。もし、複数のアレーを使用する場合、それぞれの間隔は 0.6m/2ft. にする必要があります。(図1)

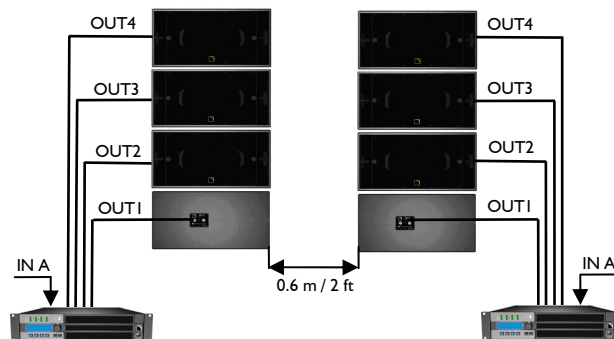


図1: LA4 アンプリファイドコントローラー2 台に接続した SB118x2 台のカーディオイドアレー (前面)

[SB118\_60\_C]プリセットは、KUDO®、dV-DOSC/dV-SUB、ARCS®、KIVA/KILO システムと組み合わせのサブウーファーとして SB118 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB118\_100\_C]プリセットは、dV-DOSC、ARCS®、XT、MTD システムと組み合わせのサブウーファーとして SB118 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

“カーディオイド”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 14: “カーディオイド”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	SB118 reversed enclosure	SR_A	O	X	X	X
OUT 2	SB118 enclosure	SB_A	O	X	X	X
OUT 3	SB118 enclosure	SB_A	O	X	X	X
OUT 4	SB118 enclosure	SB_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. SB: subwoofer enclosure. SR: reversed subwoofer enclosure.

注: メインシステムのエンクロージャーは、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルを参照してください。

## 5 LA8 プリセットライブラリー (version1.1)

完全なオンボードのプリセットライブラリーは、L-ACOUSTICS®スピーカーの選択レンジのための全ての主要なシステム構成をカバーする LA8 の 890EM メモリーロケーション(11 から 99)の中に記憶されます。表 15 は、LA8 プリセットライブラリーのバージョン 1.1 を示しています: 42 のプリセットがあり、それぞれ、メモリー位置の番号、名前、チャンネル・アサインメント、そして製品の種類 (ファミリー) で説明されています。

### 115XT HIQ コアキシャル・システムと[dV\_F]プリセット

[xxx\_FI] "FILL" プリセットは、スピーチ、クラシック音楽、近距離でのエンクロージャー使用に公称フラットな特性をもたらします。

[xxx\_FR] "FRONT" プリセットは、スタンドアロンでの FOH アプリケーションに用います (サブウーファー不使用)。

[xxx\_MO] "MONITOR" プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート (フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合) で、公称フラットな特性を生み出します。

### WST®システムプリセット (V-DOSC, KUDO, dV-DOSC と dV-D\_dVS ファミリー)

V-DOSC、dV-DOSC、そして、dV-D\_dVS ファミリーでは、LO プリセットは、スタンダードな高域の特性を特徴とし、HI プリセットは増幅された高域特性 (LO プリセットに対し、高域シェルビング EQ に 3dB の違い) を特徴とします。

[KUDO50]、[KUDO80]、[KUDO110] プリセットは、K-LOUVER の指向性セッティング (各 50°、80° または 110°) において、KUDO®システムの周波数特性を最適化するため、個別にコンポーネント・イコライゼーションを備えています (KUDO®のユーザーマニュアル参照)。

[xxx\_60] / [xxx\_100] プリセットは、メインシステムと、60Hz と 100Hz でローパスフィルタリングされたサブウーファーシステムとの併用を可能にする 60Hz と 100Hz のハイパスフィルターを含んでいます。

[V-DOSC\_xxx\_X] プリセットは、V-DOSC®システムと、200Hz でローパスフィルタリングされたサブウーファーシステムの併用を可能にするフルレンジ・イコライゼーションをもたらします。

[dV\_dV\_S\_xxx] プリセットは、dV-DOSC®エンクロージャーと dV-SUB エンクロージャーを使用するハイブリッドコンフィギュレーションのために設計されています。dV-SUB と dV-DOSC のローセクション間のクロスオーバー周波数は 100Hz となります。

### サブウーファーシステムのプリセット (dV-SUB、SB118、SB28 と SB218 ファミリー)

[xxx\_60]/[xxx\_100] プリセットは、60Hz、または 100Hz でフィルタリングされたメインシステムと、サブウーファーシステムとの併用を可能にする 60Hz と 100Hz のローパスフィルターを含んでいます。

[xxx\_X] プリセットは、[V-DOSC\_xxx\_X] プリセットでドライブされるフルレンジの V-DOSC®システムとサブウーファーシステムの併用を可能にする 200Hz のローパスフィルターを含んでいます。これらのプリセットは低周波数域で V-DOSC®システムとサブウーファーシステムのバンド幅を均一にクロスさせます。

[dV-S\_60\_XXX] プリセットは、60Hz でローパスフィルタリングされたサブウーファーシステムと dV-SUB システムの併用を可能にする 60Hz のハイパスフィルターを含んでいます。

[xxx\_C] プリセットは、サブウーファーの“カーディオイド”カバレッジパターンのアレイ構築に必要な個別のイコライゼーション設定を備えています (“SB118” と “SB28” のユーザーマニュアル参照)

表 15 では、4 つのアウトプット・チャンネルは、以下のように “xx\_x” で表示されています。

- 最初の 2 桁は、対応するアウトプット・チャンネルに接続されるトランスデューサーの種類を示しています。  
LF, MF, HF: それぞれ、低域、中域、高域トランスデューサー  
SB: サブウーファー  
SR: カーディオイド・アプリケーション、反転型サブウーファー
- 最後の桁は、アウトプットがどの入力チャンネルによりドライブされるか示しています。  
A, B: それぞれ、インプット A または B によってドライブされるアウトプット

表 15: LA8 のファクトリー・プリセットの詳細 (バージョン 1.1)

N°	PRESET NAME	OUT 1	OUT 2	OUT 3	OUT 4	DESCRIPTION	FAMILY
11	V-DOSC_LO	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, full range, LO contour	V-DOSC
12	V-DOSC_LO_60	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, HPF=60 Hz, LO contour	V-DOSC
13	V-DOSC_LO_X	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, full range, LO contour, optimized for SB218 & dV-SUB X presets	V-DOSC
14	V-DOSC_HI	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, full range, HI contour	V-DOSC
15	V-DOSC_HI_60	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, HPF=60 Hz, HI contour	V-DOSC
16	V-DOSC_HI_X	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, full range, HI contour, optimized for SB218 & dV-SUB X presets	V-DOSC
17	KUDO50	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, full range, 50° K-Louver settings	KUDO
18	KUDO50_60	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=60 Hz, 50° K-Louver settings	KUDO
19	KUDO80	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, full range, 80° K-Louver settings	KUDO
20	KUDO80_60	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=60 Hz, 80° K-Louver settings	KUDO
21	KUDO110	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, full range, 110° K-Louver settings	KUDO
22	KUDO110_60	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=60 Hz, 110° K-Louver settings	KUDO
23	dV_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC, full range, FI contour	dV-DOSC
24	dV_LO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC, full range, LO contour	dV-DOSC
25	dV_LO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC, HPF=100 Hz, LO contour	dV-DOSC
26	dV_HI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC, full range, HI contour	dV-DOSC
27	dV_HI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC, HPF=100 Hz, HI contour	dV-DOSC
28	dV_dV-S_LO	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC & dV-SUB, full range, X-OVER=100 Hz, LO contour	dV-D_dVS
29	dV_dV-S_LO60	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC & dV-SUB, HPF=60 Hz, X-OVER=100 Hz, LO contour	dV-D_dVS
30	dV_dV-S_HI	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC & dV-SUB, full range, X-OVER=100 Hz, HI contour	dV-D_dVS
31	dV_dV-S_HI60	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC & dV-SUB, HPF=60 Hz, X-OVER=100 Hz, HI contour	dV-D_dVS
32	dV-S_60_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	dV-SUB, HPF=60 Hz, LPF=100 Hz	dV-SUB
33	dV-S_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	dV-SUB, LPF=100 Hz	dV-SUB
34	dV-S_60_X	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	dV-SUB, HPF=60 Hz, LPF=200 Hz, optimized for [V-DOSC_xx_60] presets	dV-SUB
35	dV-S_X	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	dV-SUB, LPF=200 Hz, optimized for V-DOSC X presets	dV-SUB
36	HIQ_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, full range, FI contour	115XTHiQ
37	HIQ_FI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, HPF=100 Hz, FI contour	115XTHiQ
38	HIQ_FR	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, full range, FR contour	115XTHiQ
39	HIQ_FR_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, HPF=100 Hz, FR contour	115XTHiQ
40	HIQ_MO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, full range, MO contour	115XTHiQ
41	HIQ_MO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, HPF=100 Hz, MO contour	115XTHiQ
42	SB118_60	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB118, LPF=60 Hz	SB118
43	SB118_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB118, LPF=100 Hz	SB118
44	SB118_60_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB118, LPF=60 Hz, cardioïd coverage pattern	SB118
45	SB118_100_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB118, LPF=100 Hz, cardioïd coverage pattern	SB118
46	SB28_60	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB28, LPF=60 Hz	SB28
47	SB28_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB28, LPF=100 Hz	SB28
48	SB28_60_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB28, LPF=60 Hz, cardioïd coverage pattern	SB28
49	SB28_100_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB28, LPF=100 Hz, cardioïd coverage pattern	SB28
50	SB218_60	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB218, LPF=60 Hz	SB218
51	SB218_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB218, LPF=100 Hz	SB218
52	SB218_X	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB218, LPF=200 Hz, optimized for V-DOSC X presets	SB218

### 5.1 V-DOSC® WST® システム

#### 5.1.1 “フルレンジ”モード: [V-DOSC], [V-DOSC\_HI]プリセット

[V-DOSC\_LO]と[V-DOSC\_HI]プリセットは、30Hz のハイパスフィルターを含んだロング・スロー・アプリケーション向けに作られた、専用のシステム・コンツアーを備えています。

[V-DOSC\_LO]プリセットは、スタンダードな高域特性を備えています。

[V-DOSC\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を備えています (LO プリセットに対し、高域シェルビング EQ に 3dB の違い)。

“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 16: “フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

#### 5.1.2 “ハイパス”モード: [V-DOSC\_LO\_60], [V-DOSC\_HI\_60]プリセット

[V-DOSC\_LO\_60]と[V-DOSC\_HI\_60]プリセットは、メインシステムと、60Hz でローパスフィルタリングされた SB218 サブウーファーシステム [SB218\_60]または、SB28[SB28\_60]の併用を可能にする 60Hz のハイパスフィルターを含んでいます。推奨する割合は、SB218 または SB28 x2 台に対し、V-DOSCx3 台となります。

“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 17: “ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

**注:** もし、補足のサブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットで使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

### 5.1.3 “拡張”モード: [V-DOSC\_LO\_X]と[V-DOSC\_HI\_X]プリセット

[V-DOSC\_LO\_X]と[V-DOSC\_HI\_X]プリセットは、システムの低周波数エネルギーを増幅するため、V-DOSC®システムと、60Hz でローパスフィルタリングされた SB218 サブウーファーシステム [SB218\_60]、または SB28 [SB28\_60]との併用を可能にする、フルレンジ・イコライゼーションを備えています。これらのプリセットは低周波数域で V-DOSC®とサブウーファーシステムのバンド幅を均一にクロスさせます。サブウーファーとローセクションに対し、共通のローパスフィルター(200Hz)を使用することにより、位相のバリエーションが得られ、音が歪むのを防ぐことが可能になります。



X プリセットの使用は、V-DOSC®アレーとSB218/dV-SUBアレーが互いに接近してカップリングしている時のみ可能となります。

“拡張モード”でアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 18: “拡張”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: もし、補足のサブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットで使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 5.2 KUDO® WST® システム

### 5.2.1 “フルレンジ”モード: [KUDO50], [KUDO80]と[KUDO110]プリセット

[KUDO50]、[KUDO80]、そして、[KUDO110]プリセットは、K-LOUVER の指向性セッティング(各 50°、80° または 110° )において、KUDO®システムの周波数特性を最適化するため、40Hz のハイパスフィルターと、個別にコンポーネント・イコライゼーションを備えています(KUDO®のユーザーマニュアル参照)。



K-LOUVER/パネルが選択されたプリセットと一致している事を常に確認してください。

“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 19: “フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

### 5.2.2 “ハイパス”モード: [KUDO50\_60]、[KUDO80\_60]、[KUDO110\_60]プリセット

[KUDO50\_60]、[KUDO80\_60]、そして[KUDO110\_60]プリセットは、K-LOUVER の指向性セッティング(各 50°、80° または 110° )において、KUDO®システムの周波数特性を最適化するため、60Hz のハイパスフィルターと、個別にコンポーネント・イコライゼーションを備えています(KUDO®のユーザーマニュアル参照)。



K-LOUVER パネルが選択されたプリセットと一致している事を常に確認してください。

これらのプリセットは、システムの低周波数のオペレーティングレンジを拡張するため、KUDO システム®と、SB118、SB28、または、SB218 サブウーファーを併用できるように設計されています。推奨する割合は KUDOx3 台に対し、SB118x2 台、SB28x1 台、または SB218x1 台となります。やや高め増幅エネルギーを低域の周波数域で必要とするアプリケーションに対して推奨する割合は、KUDO®x2 台に対し、SB118x2 台、SB28x1 台、SB218x1 台となります。

これらのプリセットは、低域バンド幅が縮小されているので、例えば、KUDO®アレーをセンター・クラスターで使用するなど、スタンドアロンでのアプリケーションにも適しています。

“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 20: “ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

**注:** 補足のサブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットで使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 5.3 dV-DOSC WST® システム

### 5.3.1 “フルレンジ”モード: [dV\_LO], [dV\_HI], [dV\_FI]プリセット

[dV\_LO]と[dV\_HI]プリセットは、60Hz のハイパスフィルターを含んだ長距離での使用向けに作られた、専用のシステム・コンツァーを備えています。

- [dV\_LO]プリセットは、スタンダードな高域特性を備えています。
- [dV\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を備えています (LO プリセットに対し、高域シュルビング EQ に 3dB の違い)

[dV\_FI]プリセットは、近距離、または中距離分散型のアプリケーションに対し、100Hz までの、公称フラットなシステム・コンツァーを備えています。このプリセットは、0° から 7.5° まで調整可能なユニット間の角度で、1 台、または1ペアのエンクロージャー用となります。

“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 21: “フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	dV-DOSC enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	dV-DOSC enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

### 5.3.2 “ハイパス”モード: [dV\_LO\_100], [dV\_HI\_100]プリセット

[dV\_LO\_100]と[dV\_HI\_100]プリセットは、メインシステムと、100Hz でローパスフィルタリングされたサブウーファーシステム SB118[SB118\_100]、SB28[SB28\_100]、SB218[SB218\_100]の併用を可能にする 100Hz のハイパスフィルターを含んでいます。推奨する割合は、dV-DOSCx3 台に対し、SB118x2 台、SB28x1 台、または SB218x1 台となります。

[dV\_LO\_100]と[dV\_HI\_100]プリセットは、V-DOSC®システムと併用したアップフィルかダウンフィル用での、dV-DOSC エンクロージャーの使用が意図されています。

“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 22: “ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	dV-DOSC enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	dV-DOSC enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: 補足のサブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットで使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

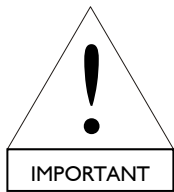
### 5.3.3 “ハイブリッド”モード: [dV\_dV-S\_xx]と[dV\_dV-S\_xx60]プリセット

“ハイブリッド”モードでは、dV-DOSC エンクロージャーは、dV-SUB エンクロージャーと組み合わせて使用します。このシステムの周波数バンド幅は、35Hz までで、dV-SUB と dV-DOSC のローセクション間のクロスオーバー周波数は 100Hz となります。推奨する割合は dV-DOSCx3 台に対し、dV-SUBx1 台となります。

[dV\_dV-S\_LO]プリセットは、スタンダードな高域特性を備えています。

[dV\_dV-S\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を備えています (LO プリセットに対し、高域シュルビング EQ に 3dB の違い)。

[dV\_dV-S\_LO60]と[dV\_dV-S\_HI60]プリセットは、4way アクティブ・コンフィギュレーション内で dV-DOSC システム使用を可能にする 60Hz のハイパスフィルターを備えています。推奨する割合は、dV-DOSCx3 台と dV-SUBx1 台の一組み合わせに対し、SB118x2 台、SB28x1 台、SB218x1 台となります。



“ハイブリッド”プリセットは、以下のように組み合わせられたプリセットの使用により構築されます。

$$\begin{aligned}
 [dV\_dV-S\_LO] &= [dV-S\_100] + [dV-S\_100] \\
 [dV\_dV-S\_HI] &= [dV\_HI\_100] + [dV-S\_100] \\
 [dV\_dV-S\_LO60] &= [dV\_LO\_100] + [dV-S\_60\_100] \\
 [dV\_dV-S\_HI60] &= [dV-S\_60\_100]
 \end{aligned}$$

“ハイブリッド”モードでアクセス可能なパラメーターは以下の通りです。

表 23: “ハイブリッド”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	dV-SUB enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	dV-SUB enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 3	dV-DOSC enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. SB: subwoofer enclosure. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: 補足のサブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットで使用されている場合、アンプリファイド・コントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 5.4 115XT HiQ コアキシャルエンクロージャー

### 5.4.1 “フルレンジ”モード: [HIQ\_FR]、[HIQ\_FI]、[HIQ\_MO]プリセット

“フルレンジ”モードで、115XT HiQ エンクロージャーは、低周波数拡張を必要としないアプリケーションのために、公称のバンド幅内でのスタンドアローン構成で使用されます。

[HIQ\_FI] “FILL”プリセットは、スピーチ、クラシック音楽、近距離でのエンクロージャー使用に公称フラットな特性をもたらします。

[HIQ\_MO] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、公称フラットな特性を生み出します。

115XT HiQ エンクロージャー“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 24: 115XT HiQ エンクロージャー用の“フルレンジ”モードで使用可能なパラメーター

LA4 Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	115XT HiQ enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	115XT HiQ enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

### 5.4.2 “ハイパス”モード: [HIQ\_FR\_100]、[HIQ\_FI\_100]、[HIQ\_MO\_100]プリセット

“ハイパス”モードでは、115XT HiQ エンクロージャーは、115XT HiQ エンクロージャーと、専用の補足 SB118 サブウーファーとの併用を可能にする 100Hz のハイパスフィルターを備えています。このシステムのバンド幅は 32Hz までです。推奨する割合は 115XT HiQx1 台に対し、SB118x1 台となります。

[HIQ\_FI\_100] “FILL”プリセットは、公称フラットな特性を生み出します。このプリセットは、100Hz のハイパスフィルターを備えています。

[HIQ\_FR\_100] “FRONT”プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーション用となります。このプリセットは、100Hz のハイパスフィルターを備えています。

[HIQ\_MO\_100] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、公称フラットな特性を生み出します。このプリセットは、100Hz のハイパスフィルターを備えています。

115XT HiQエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表25: 115XT HiQエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4 Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	115XT HiQ enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	115XT HiQ enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: 補足のサブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットで使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

### 5.5 サブウーファーエンクロージャー

#### 5.5.1 “スタンダード”モード: [SBxxx\_60]、[SBxxx\_100]、[dV-S\_60\_100]、[dV-S\_100]プリセット

“スタンダード”モードでは、サブウーファーエンクロージャーは、メインシステムの低周波数強化として使用することも可能です。

[SBxxx\_60]と[SBxxx\_100]プリセットは、それぞれ、60Hz または、100Hz のローパスフィルターを備えているので、SB118、SB218、SB28 エンクロージャーを、V-DOSC®、KUDO®、dV-DOSC、または、ARCS®システム用に付随するサブウーファーとして使用することが可能になります。

注: [SB118\_xx]プリセットは、LA4 のプリセットライブラリーでも使用可能となります。

[dV-S\_60\_100]と[dV-S\_100]プリセットは、100Hz のローパスフィルターを備えているので、dV-SUB エンクロージャーを、dV-DOSC システム用の付随するサブウーファーとして使用することが可能となります。

また、[dV-S\_60\_100]は、60Hz のハイパスフィルターを備えていますので、dV-SUB エンクロージャーと、60Hz でローパスフィルタリングされた SB118、SB218、または SB28 サブウーファーを組み合わせた使用が可能となります。

“スタンダード”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 26: “スタンダード”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Subwoofer enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	Subwoofer enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 3	Subwoofer enclosure	SB_B	O	O	O	O
OUT 4	Subwoofer enclosure	SB_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. SB: subwoofer enclosure.

注: メインシステムのエンクロージャーは、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルを参照してください。

## 5.5.2 “カーディオイド”モード: [SBxxx\_60\_C]、[SBxxx\_100\_C]プリセット

“カーディオイド”モードでは、使用しているシステムの低周波数特性を、SB118エンクロージャーで32Hz、SB28エンクロージャーで25Hzまで下げることができます。このモードでサブウーファーエンクロージャーは、カーディオイドパターンのカバレッジを生み出し、リア側に最大の減衰をもたらし、結果として、オペレーションのバンド幅よりも、エンクロージャーの後部の音圧レベルを非常に大きく減らすこととなります。該当するプリセットはLA4(SB118)とLA8(SB118、SB28)のライブラリーにあります。



カーディオイドアレイは、最下部をフロントからリアへ反対にしたサブウーファーエンクロージャー4台をバーティカル・アレイにすることにより得られます。もし、複数のアレイを使用する場合、それぞれの間隔は0.6m/2ft.にする必要があります。(図2)

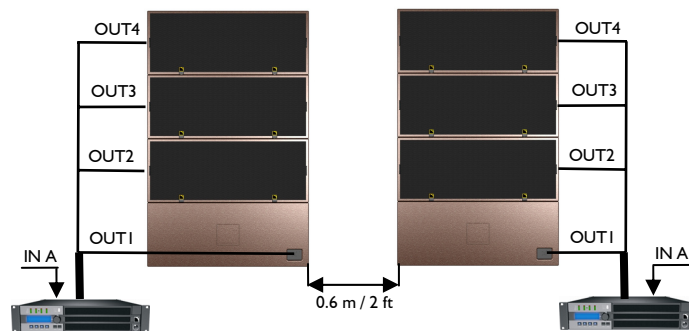


図 2: LA8 アンプファイドコントローラー 2 台に接続された SB28x2 台のカーディオイドアレイ(前面)

[SBxxx\_60\_C]プリセットは、60Hz のローパスフィルターを備えているので、SB118 または、SB28 エンクロージャーを KUDO®、dV-DOSC/dV-SUB、ARCS®、KIVA/KILO システム用のカーディオイドサブウーファーとして使用することができます。

[SBxxx\_100\_C]プリセットは、100Hz のローパスフィルターを含んでいるので、SB118 または、SB28 エンクロージャーを dV-DOSC、ARCS®、XT、MTD 用のカーディオイドサブウーファーとして使用することができます。

“カーディオイド”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 27: “カーディオイド”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Reversed subwoofer enclosure	SR_A	O	X	X	X
OUT 2	Subwoofer enclosure	SB_A	O	X	X	X
OUT 3	Subwoofer enclosure	SB_A	O	X	X	X
OUT 4	Subwoofer enclosure	SB_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: channel A. SB: subwoofer enclosure. SR: reversed subwoofer enclosure.

注: メインシステムのエンクロージャーは、アンプファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルを参照してください。

### 5.5.3 “拡張”モード: [SB218\_X]、[dV-S\_60]、[dV-S\_X]プリセット

“拡張”モードでは、サブウーファーエンクロージャーを、メインシステムの低周波数強化として使用することができます。

[SB218\_X]と[dV-S\_X]プリセットは 20Hz のローパスフィルターを備えているので、[V-DOSC\_LO\_X]または[V-DOSC\_HI\_X]プリセットでドライブされる、フルレンジの V-DOSC®とサブウーファーエンクロージャーを組み合わせることが可能になります。これらのプリセットは低周波数域で V-DOSC®とサブウーファーシステムのバンド幅を均一にクロスさせます。

[dV-S\_60\_X]プリセットは、200Hz のローパスフィルターと 60Hz のハイパスフィルターを備えているので、dV-SUB サブウーファーエンクロージャーを、[V-DOSC\_LO\_60]または[V-DOSC\_HI\_60]プリセットでドライブされる、60Hz でハイパスフィルタリングされた V-DOSC®システムと併に使用することが可能になります。これらのプリセットは低周波数域で V-DOSC®と dV-SUB システムのバンド幅を均一にクロスさせます。



X プリセットの使用は、V-DOSC®アレーとSB218/dV-SUBアレーが互いに接近してカップリングされている時のみ可能となります。

“拡張”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 28: “拡張”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8 Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	Accessible (O) and blocked (X) parameters			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Subwoofer enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	Subwoofer enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 3	Subwoofer enclosure	SB_B	O	O	O	O
OUT 4	Subwoofer enclosure	SB_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A: channel A. B: channel B. SB: subwoofer enclosure.

注: メインシステムのエンクロージャーは、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルを参照してください。



表 29: システム構成と関連するプリセット

SYSTEM CONFIGURATIONS	PRESETS			HYBRID EQUIVALENT	
	PRESET 1	PRESET 2	PRESET 3	PRESET 1	PRESET 2
dV-DOSC (LO/HI) + dV-SUB, X-OVER=100Hz	dV_LO_100	dV-S_100		dV_dV-S_LO	
dV-DOSC (LO/HI) + SB118, X-OVER=100Hz	dV_LO_100	SB118_100			
dV-DOSC (LO/HI) + SB218, X-OVER=100Hz	dV_LO_100	SB218_100			
dV-DOSC (LO/HI) + SB28, X-OVER=100Hz	dV_LO_100	SB28_100			
dV-DOSC (LO/HI) + SB118 (CARDIO), X-OVER=100Hz	dV_LO_100	SB118_100_C			
dV-DOSC (LO/HI) + SB28 (CARDIO), X-OVER=100Hz	dV_LO_100	SB28_100_C			
[dV-DOSC (LO/HI)+ dV-SUB] + SB118, X-OVER=60Hz	dV_LO_100	dV-S_60_100	SB118_60	dV_dV-S_LO60	SB118_60
[dV-DOSC (LO/HI)+ dV-SUB] + SB218, X-OVER=60Hz	dV_LO_100	dV-S_60_100	SB218_60	dV_dV-S_LO60	SB218_60
[dV-DOSC (LO/HI)+ dV-SUB] + SB28, X-OVER=60Hz	dV_LO_100	dV-S_60_100	SB28_60	dV_dV-S_LO60	SB28_60
[dV-DOSC (LO/HI)+ dV-SUB] + SB118 (CARDIO), X-OVER=60Hz	dV_LO_100	dV-S_60_100	SB118_60_C	dV_dV-S_LO60	SB118_60_C
[dV-DOSC (LO/HI)+ dV-SUB] + SB28 (CARDIO), X-OVER=60Hz	dV_LO_100	dV-S_60_100	SB28_60_C	dV_dV-S_LO60	SB28_60_C
KUDO + SB118, X-OVER=60Hz	KUDOxxx_60	SB118_60			
KUDO + SB118 (CARDIO), X-OVER=60Hz	KUDOxxx_60	SB118_60_C			
KUDO + SB218, X-OVER=60Hz	KUDOxxx_60	SB218_60			
KUDO + SB28, X-OVER=60Hz	KUDOxxx_60	SB28_60			
KUDO + SB28 (CARDIO), X-OVER=60Hz	KUDOxxx_60	SB28_60_C			
V-DOSC (LO/HI) + SB218, X-OVER=60Hz	V-DOSC_LO_60	SB218_60			
V-DOSC (LO/HI) + SB28, X-OVER=60Hz	V-DOSC_LO_60	SB28_60			
V-DOSC (LO/HI) + SB28 (CARDIO), X-OVER=60Hz	V-DOSC_LO_60	SB28_60_C			
V-DOSC (LO/HI) + SB218, X-OVER=EXTENDED	V-DOSC_LO_X	SB218_X			
V-DOSC (LO/HI) + dV-SUB X-OVER=EXTENDED	V-DOSC_LO_X	dV-S_X			
[V-DOSC (LO/HI) + dV-SUB] + SB218, X-OVER=60Hz	V-DOSC_LO_60	dV-S_60_X	SB218_60		
[V-DOSC (LO/HI) + dV-SUB] + SB28, X-OVER=60Hz	V-DOSC_LO_60	dV-S_60_X	SB28_60		
[V-DOSC (LO/HI) + dV-SUB] + SB28 (CARDIO), X-OVER=60Hz	V-DOSC_LO_60	dV-S_60_X	SB28_60_C		

表 30: システム構成と関連するディレイ

SYSTEM CONFIGURATIONS	DELAYS		
	SYSTEM 1	SYSTEM 2	SYSTEM 3
dV-DOSC (LO/HI) + dV-SUB, X-OVER=100Hz	dV = 0 ms	dV-SUB= 0.3 ms	
dV-DOSC (LO/HI) + SB118, X-OVER=100Hz	dV = 2.2 ms	SB118= 0 ms	
dV-DOSC (LO/HI) + SB218, X-OVER=100Hz	dV = 0.3 ms	SB218= 0 ms	
dV-DOSC (LO/HI) + SB28, X-OVER=100Hz	dV = 0.3 ms	SB28= 0 ms	
dV-DOSC (LO/HI) + SB118 (CARDIO), X-OVER=100Hz	dV = 7.7 ms	SB118C= 0 ms	
dV-DOSC (LO/HI) + SB28 (CARDIO), X-OVER=100Hz	dV = 5.8 ms	SB28 C= 0 ms	
[dV-DOSC (LO/HI)+ dV-SUB] + SB118, X-OVER=60Hz	dV = 0 ms	dV-SUB= 1.25 ms	SB118= 4.5 ms
[dV-DOSC (LO/HI)+ dV-SUB] + SB218, X-OVER=60Hz	dV = 0 ms	dV-SUB= 1.25 ms	SB218= 5 ms
[dV-DOSC (LO/HI)+ dV-SUB] + SB28, X-OVER=60Hz	dV = 0 ms	dV-SUB= 1.25 ms	SB28= 5 ms
[dV-DOSC (LO/HI)+ dV-SUB] + SB118 (CARDIO), X-OVER=60Hz	dV = 1 ms	dV-SUB= 2.25 ms	SB118C= 0 ms
[dV-DOSC (LO/HI)+ dV-SUB] + SB28 (CARDIO), X-OVER=60Hz	dV = 0.5 ms	dV-SUB= 2.8 ms	SB28 C= 0 ms
KUDO + SB118, X-OVER=60Hz	KUDO= 0 ms	SB118= 3.5 ms	
KUDO + SB118 (CARDIO), X-OVER=60Hz	KUDO= 2 ms	SB118 C= 0 ms	
KUDO + SB218, X-OVER=60Hz	KUDO= 0 ms	SB218= 5 ms	
KUDO + SB28, X-OVER=60Hz	KUDO= 0 ms	SB28= 5 ms	
KUDO + SB28 (CARDIO), X-OVER=60Hz	KUDO=0.5 ms	SB28 C=0 ms	
V-DOSC (LO/HI) + SB218, X-OVER=60Hz	V-DOSC= 0 ms	SB218= 4.1ms	
V-DOSC (LO/HI) + SB28, X-OVER=60Hz	V-DOSC= 0 ms	SB28= 4.1ms	
V-DOSC (LO/HI) + SB28 (CARDIO), X-OVER=60Hz	V-DOSC= 1.45 ms	SB28C=0 ms	
V-DOSC (LO/HI) + SB218, X-OVER=EXTENDED	V-DOSC=1.45 ms	SB218= 0 ms	
V-DOSC (LO/HI) + dV-SUB, X-OVER=EXTENDED	V-DOSC= 0 ms	dV-SUB= 0.5 ms	
[V-DOSC (LO/HI) + dV-SUB] + SB218, X-OVER=60Hz	V-DOSC= 0 ms	dV-SUB= 0.5 ms	SB218= 4 ms
[V-DOSC (LO/HI) + dV-SUB] + SB28, X-OVER=60Hz	V-DOSC= 0 ms	dV-SUB= 0.5 ms	SB218= 4 ms
[V-DOSC (LO/HI) + dV-SUB] + SB28 (CARDIO), X-OVER=60Hz	V-DOSC= 1.5 ms	dV-SUB= 2.1 ms	SB28C=0 ms

お問い合わせ先

 **ベストエックオーディオ株式会社**

本社：〒130-0011 東京都墨田区石原 4-35-12 ☎ 03-6661-3825 FAX：03-6661-3826  
大阪（営）：〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-4-14-602 ☎ 06-6359-7163 FAX：06-6359-7164  
[www.bestecaudio.com](http://www.bestecaudio.com) info@bestecaudio.com

**Document Reference: PRST\_UM\_ML\_1.3.1.1c**

---

**© Copyright 2008 by L-ACOUSTICS®**  
**Parc de la Fontaine de Jouvence, 91462 Marcoussis cedex, France**

---

**Distribution date: May 19<sup>th</sup>, 2008**